

市指定

所在地：上板井

しゃかはっそうねはんず

釈迦八相涅槃図

弘誓寺に伝えられた涅槃図である。中央の画面に釈迦の臨終の姿を描き、その四方に仏伝を描く。沙羅樹さらじゆの林の中で、弟子たちに見守られて入滅した釈迦の姿が描かれ、周囲には嘆き悲しむ会衆や動物が表情豊かに描写されている。

絹目が比較的粗いことから室町時代の制作と推定されるが、釈迦の載金技法や会衆の表現が古様であることから年代が少し遡る可能性がある。中世の仏画でしかも仏伝部の配置に特色があり、重要な史料である。

縦199cm、横145cm。

